

## 資料室だより 53

### 巡礼者の音楽

**Andando e cantando; Musik der Pilger und Wallfahrer** という興味深いエディションがコルネット社から出ました。この第一巻**"O beata Jacobe"**を購入しましたのでご紹介します。

これは中世・ルネサンス時代に作られた聖ヤコブのための音楽を 36 曲集めたものです。ヤコブの名前は聖書中に複数登場しますがこのヤコブはガリラヤ湖畔の漁師であったゼベタイの子、ヤコブです。イエスの 12 弟子のひとりとして召され、主の復活の証人となり、福音宣教のさなかにヘロデ・アグリッパ一世によって斬首され、12 弟子のうちの最初の殉教者となります。伝説によればヤコブの遺体はスペインで発見されます。天に不思議な星が現れて聖人の遺骸のある場所を指し示した、ということからそこは Kampus・ステラエ Campus stellae(星の野原)と名付けられ、サンチアゴ・デ・コンポステラ(星の野原の聖ヤコブ)という美しい地名になったのです。ヨーロッパの辺境であるサンチアゴはこうしてキリスト教の大巡礼地になり豊かに発展します。当然聖人の存在というのは音楽的にも大きな影響力を持ちますのでカリクティヌス写本 Codex Calixtinus という聖ヤコブのための典礼音楽が整えられ、またイムヌスも作曲されます。

この Andando e cantando ではその写本から 9 曲が収録されています。1 曲目の Hymns de S.Jacobus は Herr Sanctiagu eultre-j-a, Deus a-i-a nos とラテン語ではない綴りがみられ、典礼のためというより巡礼者が歌ったものとされています。「使徒の鑑であるヤコブはスペインを照らす。エルサレムにおいて誉ある殉教を遂げたことにより聖なるものとなった」と歌われています。

写本以外の作品では、デュファイ、プレトリウス、エンシーナ、フェスタ、モラーレス、ビクトリア、パレストリーナらがヤコブの曲を書いています。デュファイにはヤコブの曲があり、その中から、Alleluia, そしてモテット、"Ora pro nobis Dominum qui te vocavit Jacobum"、スペイン人のエンシーナはスペイン語でヤコブを讃えるカンシオネットを、同じくスペイン人のモラーレスは"Apostole Christi, Jacobe"、ビクトリアは"O lux et decus Hispania"を作曲しています。

杉本ゆり 記